



図書たより

NO.82

May 2025

明治大学中野図書館

図書館員オススの本

『日本語界限』川添愛、ふかわりょう著。-- ポプラ社, 2024. 中野開架 810.4/175//N



日頃何の気なしに口に出している言葉、大学や街角で、ネットやテレビ、本や雑誌などで耳や目に入ってくる言葉、現代のさまざまな場面で使われるようになったり使われなくなったりする日本語たち。本書では、いつの間にか広まったが何となく違和感を抱く表現や新鮮な印象を受ける言い回しなどが随所で取り上げられる。コトバに対する独自のセンサーをもつ芸人ふかわりょうが言語学者川添愛と語り合いながら、日本人の気質や社会の特性ともつながる日本語のありようを時に面白がり時に深く考えていく。ふかわは「言葉はファッション。時代や流行を反映するもの。」というが、彼の多彩な意見や疑問に川添が言語学的かつ平易な説明で応答していく対談は、単純な質疑応答では終わらない楽しさや味わい(や「あるある」や「へえ〜!」)に満ちている。難解さはなく「普通に」おもしろいので、ぜひ気軽に手に取ってほしい。

『言葉にできない想いは本当にあるのか : word hunt』いしわたり淳治著。

[1] 筑摩書房, 2020./ [2] 朝日新聞出版, 2024. 中野開架 914.6/406//N



人気作詞家が刺さる言葉を論理的に分析！作詞家・音楽プロデューサーという目線からテレビ、広告、歌詞、日常等々世の中のあらゆる“言葉”を分析するコラム集。

【私たちの口から出る言葉はいつだって、感情よりも過剰だったり、不足していたりする。】

作詞家を生業とする表現者ならではの言葉の捉え方、感性が面白い。

燃やすしかないゴミ/一生のお願い/申し訳ないよ~/それでいうと/
ただ通り過ぎていた言葉にも記憶に残る魅力がある。

言葉は「道具」であると同時に「生き物」なんだ。言葉を完璧に使いこなす事は難しいが、素敵な言葉に触れて自分の武器になれば良いと思う。

少し着眼点を広げるだけで言語感覚を養い言葉から希望や幸せを見つけられそうだ。



① 『やなせたかし : 子どもたちを魅了する永遠のヒーローの生みの親』青山誠 [著].

KADOKAWA, 2025. 中野新書・文庫

② 『やなせたかし : アンパンマンを生んだ愛と勇気の物語』平凡社, 2025. 中野開架 726.1/660//N

朝ドラ「あんぱん」放送中の今まさにおすすみたい2冊である。

①はやなせたかしさんのいわば大人向け伝記である。やなせさんといえば「何をして生きるのか」「愛と勇気」といった言葉のイメージが先行するが、実際は意外と要領よく強かに生きてきたようだ。中二病全開の学生時代のエピソードなどは思いのほか親近感を抱く。

また、①を読んでいると『初代あんぱんまんはボロボロのマントでオジサン顔』などの描写があるが、残念ながらイラストは載っていない。そこで②を手にとっていただきたい。歴代アンパンマンはもちろん、『手のひらを太陽に』のレコードジャケットの写真等も掲載されていて、ページをめくって眺めるだけでも楽しめる。

つい人に話してみたくなるネタが散りばめられているため、友人に「へーっ」と言われたい方、ぜひ。

明大 OPAC(蔵書検索) 使いこなし Tips 「カシタッチ！」



カ

簡易検索(キーワード検索)では、タイトル・著者・出版社・テーマなど複数のキーワードが一度に検索できます。



シ

詳細検索では所蔵館を指定したり、項目(タイトルなど)指定で検索できます。



タ

棚たなに行く時は、**配置場所**と**請求記号**を控えます。

配置場所	請求記号
中野開架	778/993/N map

＼**文庫**はここを見て！／

(新潮文庫；よ-18-31)



明大 OPAC は
こちらから！



ツ

追加キーワードで絞り込みができます。

チ

著者検索は姓名の間に空白をあけて。読みでも検索できます。

〈例：森勢将雅 ⇒ 0件ヒット 森勢□将雅 ⇒ 3件ヒット〉

そのほか検索で分からないことがあったら、すぐ**カウンター**の人に訊いてみよう！

中野図書館からのお知らせ

本の水ぬれ、ご用心！本を大切に…



雨の季節になってきました。図書館の本を借りたときは、ビニール袋などにいれてぬれないようにすると安心です。雨や飲み物などで本がぬれてしまった場合、弁償していただくことがあります。

